

故山口さん(美里出身)の研究紹介

来月29日まで県立博物館

会津地方やいわき市で教員をしながら東北各地で地理学・民俗学を研究した創価大名誉教授の故山口弥一郎さん(会津美里町出身)による資料を紹介するテーマ展「山口弥一郎のみた東北」は三月二十九日まで、会津若松市の県立博物館で開かれている。県立博物館の主催、警務町の後援。

暮らしや「津浪」



著書「津浪と村」の原稿

山口さんのノートや手帳、カード、調査資料を二〇一五(平成二十七年)年から五年にわたり県立博物館と警務町が共同で整理し、約二千点を目録化した。テーマ展では約百点を展示している。山口さんが生きた時代を六つに分け、地域の暮らしに寄り添いながら残した記録を年代ごとに紹介している。



調査ノート
農作業をしながら気付いた点をまとめた調査ノート

山口さんは一九〇二(明治三十五年)年に農家の長男として生まれた。県文化財保護審議会長などを務め、二〇〇〇年に九十七歳で死去した。教師として働きつつ、炭鉱集落などの研究を始めた。一九三三(昭和八)年の昭和三陸津波後、被災地に向いて被害実態や復興の様子を調査した。集落の移動問題などについて分析した著書「津浪と村」は東日本大震災後に復刊さ

四目を除く月曜日と二十五日は休館。観覧料は一般・大学生二百八十円、高校生以下無料。三月二十九日午後一時から「山口弥一郎先生を語ろう」と題したトークイベントを開く。同博物館の学芸員らが登壇する予定。問い合わせは同博物館 電話0242(28)6000へ。

マンカラ交 流選手権大 会は二十九 日午前十時 から午後三 時半まで、 福島市の県 青少年会館 で開かれ る。参加者 を募集している。 同会館、県レクリエ ーション協会の主催。



大会への参加を呼び掛ける 斎藤次長(左)と鈴木主事

定員は小中学生の部は八十人、一般の部は二十人。参加費は一般の部が千円、それ以外は無料。申し込み、問い合わせは同協会 電話024(544)1886へ。同協会の斎藤公子事務局長、同会館の鈴木香子主事は十日、福島民報社を訪れ、参加を呼び掛けた。

そば粉と蜂蜜贈る

土湯温泉観光協、福々和本舗に



左から加藤、田中、佐久間、林の各氏

開発に役立ててもらおうと、福島市の土湯温泉観光協会と菓子店「福々和本舗」にそば粉と蜂蜜を贈った。そば粉は同プロジェクトが市内荒井地区に設けた太陽光発電設備と農業を融合させた「荒井ピーガーデン発電所」で生産し、蜂蜜は都内で採取した。土湯温泉観光協会はフランスの郷土料理「ガレット」、福々和本舗は同社の焼き菓子「福島

夜曲(せれなあで)」の商品開発に活用する。贈呈式は市内の介護老人福祉施設「まちなか宝生園」で行われ、同プロジェクトの田中淳夫理事長が土湯温泉観光協会の加藤貴之会長、福々和本舗の佐久間功社長に手渡した。福島と銀座の観光交流事業を手掛けるふくしまふるさと体験交流会の林克重会長が同席した。

銀座ミツバチプロジェクト

東京都・銀座などで養蜂に取り組んでいる

音(とき)のね)の十八人 童謡メドレー」 「夜明けか 作曲した小田美樹教諭(相 馬市向陽中)、「夜明けか 千五百円。開

「夜明けか 作曲した小田美樹教諭(相馬市向陽中)、「夜明けか 千五百円。開

県南合唱塾 京都へ

さん(平一中1年)

出演

感謝の歌 届ける

小針智恵子教諭(郡山) 空に「群青」などを歌う。 「日暮れまで」を作曲した 催の社団法人 中)、鈴木郁子教諭(郡山) 地元の小中高生との合同演 信長貴富さんも出演する。 Y for 二中)、佐藤美奈子教諭(郡 妻もある。 コンサートは二〇二二 電話0800 (平一中)の指揮で「夜明けか」を演奏する。 (平成二十四)年から毎年 7322へ。